

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	司法研究科
大項目	4 教育内容・教育方法の改善に向けた組織的取り組み
中項目	
小項目	4.0.1 FD活動
要素	教育内容や教育方法の改善に向けた組織的取り組みが適切に実施されていること。
小項目	4.0.2 学生評価
要素	教育内容や教育方法についての学生による評価を把握しその結果を教育内容や教育方法の改善に活用する取り組みが適切に実施されていること。

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 授業参観と意見交換会への参加者実数を1学期あたり20人以上にする。	→授業参観・意見交換会の参加者数	C
2. 各種FD活動のうちの何らかの活動に任期制実務家教員の4割以上、兼担教員の1割以上、非常勤講師の1割以上が参加する。	→各種FD活動への任期制実務家教員、兼担教員、非常勤教員の参加者数	C

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

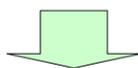
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目4.0.1	(現状説明) FD活動については、自己評価・FD委員会が定期的開催され、推奨授業を選定して授業参観会および授業後の意見交換会を実施するほか、授業評価アンケートの定例化と内容改善、教員へのフィードバック、FD研修会の実施などを含めて、活発に行われているものの、FDへの積極的な参加者が専任教員と任期制実務家教員の一部にとどまっているという状態が続いている。
☆ 小項目4.0.2	(現状説明) 毎学期の授業評価アンケートの実施と自己評価・FD委員会による分析、教員へのフィードバックをきめ細かく行っているほか、学生のクラス連絡会と教員との意見交換会等を適宜実施してコミュニケーションを図っている。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

★	小項目4.0.1	F D活動への参加呼びかけが文書・Eメール・F Dニュース配布等の一方的な呼びかけが中心になっており、任期制実務家教員・兼任教員・非常勤教員の意識を個別に喚起するための方策が実施できていないこと。また、授業参観会の実施日程の決定が遅れ気味であるために、参加者が拡大しないこと。
	小項目4.0.2	授業評価アンケートの分析に若干マンネリ化の傾向があること。
	その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

★	小項目4.0.1	F D活動に対する任期制実務家教員・兼任教員・非常勤教員の意識を個別に喚起するために、別途文書を配布したり個別の呼びかけを行ったりすることや、興味を持ってもらえる企画をする等の工夫をしていくこと。また、授業参観会の実施日程を早めに決定すること。
	小項目4.0.2	授業評価アンケートの分析内容に、学生の現状をよりの確に把握するための新機軸を導入していくこと。
	その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★	その他 (自由記述)	任期制実務家教員・兼任教員・非常勤教員の全体を巻き込んだF D活動の展開には特別の努力を要すると思われる、短期間での改善には困難が予想されるので、比較的参加意識の高い任期制実務家教員の参加度を高めることから始めていきたい。
---	---------------	---

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

- 授業参観と意見交換会など教育の改善に関する活動が行われています。教員をFD活動に巻き込むことはなかなか困難なことですが、教育の質を上げるために努力することが期待されます。
- 自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかりやすく説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のことわかる必要があります。そのためにも、2008年度の認証評価報告書を参考にされて、全小項目についてももう少し詳しく現状説明されることを希望します。
- FDの取り組みは全教員を巻き込んでいるとは言えませんが、精力的な活動をされており他学部・他大学院などの手本になるものです。また、学生評価についても同様です。効果が上がっている事項へ記述されてもいいのではないのでしょうか。
- 月1回FD委員会が開催されていることは特筆すべきことで評価出来ます。
- 優れた取り組みであるのですから、FD委員会の開催頻度、FDニュース、FDの内容や回数、学生授業評価の内容など、より詳しい現状説明を希望します。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★	なし
---	----